

2 計画事業及び市民活動事業

基本目標 1 地域で子育てを支援するまちづくり

主要課題 1 - 1 情報提供・相談体制の充実

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
1-1-1 かまくら子育て メディアスポッ トの充実	子育て中の市民に「子育て支援コンシェルジュ」による子育て支援情報の収集・提供を行います。 また、子育て支援団体や地域活動の情報発信などに協力していきます。 相談件数 489件					こどもみらい課 2,222 千円
1-1-2 「かまくら子育 てナビきらきら」 の発行	妊娠中から就学前までの子どもの子育てに役立つよう子育て支援情報誌を発行します。 16年度 8,000部 21年度 対象者数を考慮して発行 発行部数 8,000部					こどもみらい課 保育課 こども相談課 市民健康課
1-1-3 子育て情報の提 供	子育てに関する各種情報・講座・教室の案内等の情報を、広報や情報紙、ホームページ等での確に提供しよう努めます。 また、各公立保育園では、季節の子育てや地域と密着した子育て情報を年に数回発行(「汽車ポッポ」「かにっこ」「こしごえ」)して各子育て情報スポットに置いたり、保育園前の掲示板でお知らせしています。 ホームページの活用 「かまくら子育てナビきらきら」を発行 8,000部 ENJOY 鎌倉スポーツNEWS を6回発行 各2,000部					関係各課
1-1-4 各種相談事業の 充実及び連携	育児相談、児童相談、教育相談、女性問題相談など、各種相談事業を充実し、各相談窓口と関係機関との連携を図ります。 親子健康相談 2-1-3参照 教育相談 3-2-4参照 「こどもと家庭の相談室」の開設 6-1-4参照 運動体力相談の実施 6回					関係各課
1-1-5 地域子育て相談 体制	親たちが子育ての悩みなどを気軽に相談できるよう、子育て支援センター、保育所を活用し、相談体制の充実に努めます。 公立保育園では、地域活動の一環として電話等での育児相談を受け付けています。 相談件数：鎌倉子育て支援センター 3,078件 大船子育て支援センター 4,449件 公立保育園全園で実施、民間(富士愛育園、岩瀬保育園、清心保育園、大船ひまわり保育園、たんぼぼ共同保育園)5園で実施					保育課 こども相談課
1-1-6 「こどもと家庭 の相談室」の開設 (17新規)(再掲)	子どもと家庭の福祉に関する第一義的相談窓口として幅広い相談の受付を行います。 相談・通告への対応に当たっては、児童相談所を始めとする関係機関との連携のもとに取り組みます。 6-1-4参照					こども相談課
1-1-7 育児相談及び講 演会	幼稚園において、幼児教育に関する各般の問題につき、保護者からの相談に応じ必要な情報の提供及び助言、その他必要な援助を行います。 16年度 9園 21年度 23園 18年度 22園					私立幼稚園
1-1-8 地域の民生委員 児童委員、主任児 童委員の活動	地域には厚生労働大臣から委嘱を受けた民生委員児童委員が、市民の立場で子育ての相談、情報提供などの支援を行っています。主任児童委員は、親子で遊べる場、子育ての仲間づくりの場を設けるなど、地域の中の身近な相談相手として活動しています。 地区民生委員児童委員協議会 10地区 217人 毎月定例会を開催し、子どもに関することを検討しました。 主任児童委員連絡会 10地区 20人 毎月連絡会を開催し、子どもに関することを検討しました。 子育てサロン-自然と遊ぼう- 42人					鎌倉市民生委 員児童委員協 議会

主要課題 1 - 2 地域における子育て支援サービスの充実

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
1-2-1 子ども会館	地域の子どもに健全な遊び場を提供し、心身の健やかな育成を図ります。 16年度 13か所 21年度 14か所 年間児童利用者数 169,921人 平成19年度に七里が浜子ども会館を開設予定					こどもみらい課 14-6 に含む
1-2-2 子どもの家	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象に、放課後に、子どもの家を利用して、適切な遊び場及び生活の場を提供し、その健全な育成を図ります。 16年度 15か所 21年度 16か所 詳しくは 16 ページ特定 14 事業の 14-6 を参照					こどもみらい課
1-2-3 障害児のための 子どもの家の受入れ	ノーマライゼーションの観点から、障害のある児童の子どもの家受入れについて環境を整えます。 受入施設数 7施設 受入れ人数12人					こどもみらい課
1-2-4 公立保育所の拠点化	公立保育所は、市内 5 地域に 1 園ずつ地域の子育て支援の拠点保育所とし、それ以外の 3 園について民営化に取り組みます。 16年度 公立 8 園 21年度 拠点園 5 か所 保護者が参加する民営化等検討委員会を設置して検討を重ね、9月に「鎌倉市立保育園の民営化計画」を作成しました。10月からは保護者、専門家を含めた山崎保育園民営化に係る運営法人選考委員会を設置して運営予定法人を決定し、19年度以降引継ぎ保育ができるよう運営予定法人と準備を行いました。					保育課
1-2-5 子育て支援センターの充実	子育て家庭に対してアドバイザーが子育ての情報提供や、育児相談に応じます。フリースペースの子育てひろばも設置します。 16年度 2 か所 21年度 3 か所 詳しくは 17 ページ特定 14 事業の 14-13 を参照					こども相談課
1-2-6 保育園における 地域育児センター活動の拡大	多様化する子育てニーズに対応するため、子育てに関する相談、情報の提供、子育てグループの支援や各種サービスの提供など、子育て家庭を総合的に支援する地域育児センター活動の拡大を図ります。 地域活動を通して、子どもの遊び空間を提供しました。また、親子のふれあい遊び体験、食育情報提供、育児相談等活動内容の充実と拡大に努めました。					保育課
1-2-7 つどいの広場事業	主に乳幼児（特に0～3歳）を持つ子育て中の親子の交流、つどいの場を提供します。 16年度 0 か所 21年度 1 か所 詳しくは 17 ページ特定 14 事業の 14-14 を参照					こどもみらい課
1-2-8 保育施設の整備・活用	保育の安全確保及び市民ニーズの多様化に対応するため、老朽化した保育施設の改築等の整備を図ります。認定保育施設（無認可）の施設整備と認可化に向けて支援します。 また、既存施設の有効利用と改築に合わせ、保育スペースの確保を図ります。玉縄地域の待機児童対策として暫定的に岩瀬保育園植木分園の施設整備を実施しました。					保育課
1-2-9 市主催事業における託児サービス	乳幼児のいる親が、市の主催する事業へ参加できるよう、一時保育等の託児サービスを推進します。 8回実施 また、庁内各課へも呼びかけ、託児サービスの配置を推進しました。					人権・男女共同参画課 133千円
1-2-10 ファミリーサポートセンター	仕事と育児の両立のため、育児を必要とする市民が、育児を提供できる市民から、子育て支援を受けられるファミリーサポートセンター事業を推進します。 16年度 1 か所 21年度 1 か所 詳しくは 17 ページ特定 14 事業の 14-12 を参照					こども相談課

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
1-2-11 在宅子育て家庭 訪問支援事業 (17 新規)	<p>ファミリーサポートセンターの活動内容に家事支援(掃除、洗濯、食事づくり等)を追加します。利用者のうち次の対象者に利用料の一部を助成します。</p> <p>対象者 妊娠(母子健康手帳交付)中から就学前の子ども(保育園・幼稚園に通園していない)を養育している家庭 同一世帯の家族が病気になり、家事支援が必要な家庭</p> <p>活動件数 781件</p>					こども相談課 3,723 千円
1-2-12 空き店舗を活用 した保育サー ビス等提供施設の 促進	<p>商店街の賑わいの創出・活性化及び保育サービス等の提供の促進を図るため、空き店舗を活用したコミュニティ施設の設置時に要する改装費・賃借料等の支援を図ります。</p> <p>補助金交付要綱の制定に向け検討しました。</p>					産業振興課
1-2-13 一時保育	<p>保護者の病気等により、一時的に保育が必要な場合に対応できるよう、一時保育の充実を図ります。</p> <p>16年度 5 か所 21年度 9 か所</p> <p>詳しくは 16 ページ特定 14 事業の 14-10 を参照</p>					保育課
1-2-14 病後児保育 (施設型)	<p>病気回復期の乳幼児を一時的に預かる事業を推進します。</p> <p>16年度 0 か所 21年度 1 か所</p> <p>詳しくは 16 ページ特定 14 事業の 14-8 を参照</p>					保育課
1-2-15 家庭保育福祉員 制度の充実	<p>低年齢児の保育需要に対応するため、保育の経験や技能を有する人が保育を行う制度の拡充を図ります。</p> <p>18年度 0 件</p>					保育課
1-2-16 短期入所生活援 助(ショートス テイ)事業	<p>児童を養育している家庭の保護者が疾病等の理由により、家庭における児童の養育が一時的に困難になった場合などに、児童養護施設等で一時的に養育・保護します。</p> <p>16年度から実施</p> <p>詳しくは 16 ページ特定 14 事業の 14-9 を参照</p>					こども相談課
1-2-17 夜間養護等(ト ワイルight)事 業	<p>保護者が仕事等の理由により、平日の夜間又は休日に不在となり、家庭で児童を養育することが困難になった場合などに、児童を児童養護施設等で保護し、生活指導、食事の提供等を行います。</p> <p>詳しくは 15 ページ特定 14 事業の 14-4 を参照</p>					こども相談課
1-2-18 特定保育事業	<p>保護者の就労形態の多様化に伴い、週 2、3 日程度、または、午前か午後のみ、必要に応じて、一定の日数や時間行う保育を推進します。</p> <p>16年度 0 か所 21年度 15 か所(14人)</p> <p>詳しくは 16 ページ特定 14 事業の 14-11 を参照</p>					保育課
1-2-19 多世代交流地域 共同拠点の創設 (17 新規)	<p>地域資源の活用等により一般家庭の開放も含め、多世代が交流しあえる地域の拠点づくりを支援します。</p> <p>場所等の検討を、関係課の連携を図りながら、調査研究しました。また、身近で交流できる「つどいの場」づくりを推進するため、「空き家、空き店舗等情報登録制度」を設けました。</p>					福祉政策課 こどもみらい課

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
1-2-20 地域開放	幼稚園の園庭・園舎を開放し、子育て相談や未就園児の親子登園等を推進することや各種の子育て支援サービスを行います。 16年度 15園 21年度 23園 18年度 21園					私立幼稚園
1-2-21 幼稚園における 学童保育	放課後児童の健全育成に関して、幼稚園も地域の社会資源の積極的な活用を検討しつつ、対策が必要な児童のすべてを受け入れる体制の整備を目指した事業に取り組んでいきます。 16年度 0園 21年度 10園 18年度 0園					私立幼稚園
1-2-22 乳幼児親子の会	親子一緒にゆったりした気持ちになり、新しい交流や支え合い、情報交換の場を提供しています。 お母さん方と一緒にプログラムを作り活動しています。 リズム体操、工作、紙芝居、指人形 人形劇の会、クリスマス会の会 リズム体操 24回、人形劇 5～6回、工作 15回、紙芝居 18回、パラバルーン 15回、クリスマス会 1回、卒業式 1回 親子23組 ボランティア先生2人 お手伝い2人					ひよこの会
1-2-23 青空自主保育	子どもが自然の中で遊びのびと遊ぶことを目的に、保育者と当番の親が引率して鎌倉の海や山に出かけています。 あひる組(2歳児) } 毎週(火)(金) どんぐり組(3歳児) } どろんこ組(4歳児) 毎週(火)(木)(金) 週3日毎週実施しました。					にこにこ会 (就園前の子どもを持つ親)
1-2-24 青空自主保育	鎌倉の豊かな自然の中で、子育て親育ちができるような環境を作りたいと願う親たちによる、野外活動を主とした青空幼稚園です。 週4日毎週実施しました。					やんちゃお(5、6歳児の親)
1-2-25 地域の中での子育て支援事業	地域における「子育て」「親育ち」を支援しています。 保育サポート活動(随時) 母親のレスパイトのために セミナー、ワークショップ開催 子育て中の母親を対象に 子育て支援者のための勉強会の開催 支援者をバックアップ コンサートの開催(年1回) 子育て家族応援ふれあいコンサート 平成18年度 保育関連事業 対個人、対グループの有償保育 行政等のボランティア保育(市民健康課、教育委員会、障がい児並びにその家族支援) 講座・研修関連事業 セミナー 3回 研修・施設見学 15回 ネットワーク事業 オープンルーム 月1回 オープンコム 毎週1回 ワークショップ 年10回 情報提供・交換(ホームページ公開、子育て支援団体関連のネットワーク参加) 協働 神奈川県、鎌倉市、葉山町、鎌倉市社会福祉協議会、神奈川県社会福祉協議会、かながわ女性会議、地元企業等。 平成19年度事業予定 保育関連事業 講座・研修関連事業 ネットワーク事業					NPO 法人 かまくらキッズ・ママ

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
1-2-26 子育て支援行事等の開催	<p>子育て中の母親のリフレッシュや交流を図り、自分を見つめ直す機会としての講座を企画・運営しています。年3回。</p> <p>「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに日頃、触れる機会のない工具や火などを使って遊びます。常設の「冒険遊び場」を目指しています。年5回。</p> <p>かまくらママ Sカレッジの開催 年3回 子育てフェスタ 年1回 一日冒険遊び場の開催 年5回</p>					かまくら子育て支援グループ懇談会
1-2-27 ミニママカレ	<p>グループ内外から講師を募り、育児サークルとして料理やアロマ、ベビーマッサージなどの講座を開催します。年6回。</p> <p>休会中(かまくら子育て支援グループ懇談会の活動に参加)</p>					かまくらままれ 〜ど
1-2-28 子育てサロン	<p>児童の健全育成のために、主任児童委員が中心となり、未就学児を対象に小地域でサロン活動を行っています。</p> <p>第一地区…二階堂子育てサロン (年22回) 第二地区…大町こぐまの会 (年5回) 第三地区…ベビーちゃんの会 (年21回) 第三地区…つくしっ子 (年10回) 第四地区 } ぼっけ (年22回) 第十地区 } 第五地区 } 深沢キッズネット (年9回) 第六地区 } 第七地区…子ぶくろ家 (年12回) 第八地区…のびのび子育て (年10回) 第九地区…ママと赤ちゃんのたまりば(年13回)</p>					地区社会福祉協議会 地区民生委員児童委員協議会
1-2-29 子育て親子講座事業 (19新規・実)	<p>子ども会館を会場に主に乳幼児を持つ子育て中の親子を対象に、しつけ、遊びや食育など子育てに役立つ講座等を開催します。</p>					こどもみらい課

主要課題 1 - 3 保育サービスの充実と多様化

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
1-3-1 延長・夜間保育	<p>就労形態の多様化や、勤務時間の長時間化に対応できるよう、保育時間の延長及び延長保育実施園の拡大を図ります。</p> <p>午後 7 時まで 16年度 15か所 21年度 17か所 午後 8 時まで 16年度 2か所 21年度 5か所</p> <p>詳しくは 15 ページ特定 14 事業の 14-2、14-3 を参照</p>					保育課
1-3-2 休日保育	<p>女性の就労形態の多様化による様々な保育ニーズに対応するため、休日保育を実施します。</p> <p>16年度 0か所 21年度 2か所</p> <p>詳しくは 15 ページ特定 14 事業の 14-5 を参照</p>					保育課
1-3-3 低年齢児保育産 休明け保育	<p>産後休暇明け・育児休業明けでの乳児保育の需要に応えるため、低年齢児保育受入れの拡大に努めます。</p> <p>16年度 6か月から(公立) 21年度 2か月から 公立保育園で平成19年度実施に向け、プロジェクトにより月齢引き下げにつ いて課題の検討を行いました。</p>					保育課
1-3-4 統合保育 (障害児保育)	<p>障害のある子どもの発達の状態に応じて、保育園での集団生活の中で、お互いの理解を深め協力しながらともに育っていけるよう、統合保育の推進に努めます。</p> <p>就労している保護者の障害のある子どもを受け入れました。 3園 4人</p>					保育課
1-3-5 保育園児の健康 管理	<p>保育園児の健全な身体の育成のために、定期的に身体測定・健康診断等を行い、発育・発達の状況を把握し、健康増進に努めます。</p> <p>定期的に身体測定・健康診断等を実施しました。 保健衛生担当嘱託員を委嘱し、各園を巡回して乳幼児の保健指導及び相談を実施しました。</p>					保育課
1-3-6 送迎保育ステ ーション事業 (17新規)	<p>待機児童対策の一環として、駅を中心とした送迎保育と、これと併せた一時保育・延長保育の実施を検討します。</p> <p>検討</p>					保育課
1-3-7 保育サービス評 価(17新規)	<p>保育所の提供するサービスについて、自己評価に加えて、利用者の認識・把握と第三者機関による評価の実施を検討します。私立保育所についても取組を要請していきます。</p> <p>検討</p>					保育課
1-3-8 預かり保育	<p>幼稚園に就園している幼児につき、当該幼稚園において、教育課程に係る教育時間の終了後に教育活動を行います。</p> <p>16年度 20園 21年度 20園 18年度 21園</p>					私立幼稚園
1-3-9 幼稚園児の健康 管理	<p>幼稚園児の健全な身体の育成のために、定期健康診断及び尿・ギョウ虫検査等を実施します。</p> <p>16年度 23園 21年度 23園 18年度 23園</p>					私立幼稚園

主要課題 1 - 4 子育て支援のネットワークづくり

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
1-4-1 ネットワークの 促進	<p>子ども関連のすべての機関・団体が、子どもの健全育成に向けて、より一層連携を強化して行動できるよう協働関係を促進します。</p> <p><i>地域や学術機関と連携を持った子育て支援について検討しました。</i></p>					こどもみらい課 保育課 0千円
1-4-2 「かまくら子育て ナビきらきら」 の発行(再掲)	<p>妊娠中から就学前までの子どもの子育てに役立つよう子育て支援情報誌を発行します。</p> <p>16年度 8,000部 21年度 対象者数を考慮して発行 1-1-2参照</p>					こどもみらい課 保育課 こども相談課 市民健康課
1-4-3 地域福祉活動	<p>保育園、社会福祉協議会、主任児童委員や育児ボランティア等との連携により、地域の会館等を活用し、身近な小グループで地域の子育ての充実を図ります。</p> <p><i>地域の会館等の子育てグループへの保健師の派遣 18回</i></p>					保育課 市民健康課



主要課題 1 - 5 経済的支援の充実

事業名	事業内容 / 推進状況					実施主体 決算(見込)額
	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	
1-5-1 私立幼稚園等就 園奨励費補助金 の交付(実)	入園料及び保育料の減免を行う私立幼稚園等の設置者に対して、補助金を交付します。 奨励費交付対象園児数 2,898人					こどもみらい課 146,666千円
1-5-2 ひとり親家庭の 家賃の助成	ひとり親家庭に家賃の一部を助成することにより、その生活の安定と自立の支援を行います。 対象世帯数 257件					こども相談課 21,096千円
1-5-3 小児医療費助成	0歳～就学前の児童の通院と、0歳～中学生の入院にかかる健康保険自己負担分医療費(入院時食事代を除く)の全額を助成します。 平成17年度から、小学校入学前までの所得制限を撤廃しました。 対象者数 11,300人 平成18年10月 通院対象を小学3年生まで拡大(所得制限あり)					保険年金課 352,103千円
1-5-4 ひとり親家庭の 医療費の助成	18歳に達した後の最初の3月31日までの児童と、その養育者の入・通院にかかる健康保険自己負担分医療費(入院時食事代を除く)の全額を助成します。 対象者数 1,557人					保険年金課 53,573千円
1-5-5 障害者医療費助 成	一定程度以上の障害がある障害者の入・通院にかかる健康保険自己負担分医療費(入院時食事代を除く)の全額を助成します。 対象者数 3,955人					保険年金課 489,285千円
1-5-6 就学援助事業	経済的な理由により就学困難な市立小中学校の児童生徒の保護者に対して、学用品、学校給食費等の一部を援助します。 小学校 696人 中学校 285人 合計 981人 また、市立小中学校の特殊学級に就学している児童生徒の保護者に対して学用品、学校給食費等を援助します。 小学校 35人 中学校 15人 合計 50人					学務課 59,369千円
1-5-7 奨学金給付事業	経済的な理由により、高等学校等への修学が困難な者の保護者等に対して奨学金を給付します。 給付人数 160人					学務課 18,202千円
1-5-8 児童手当	児童手当法に基づき手当を支給します。 受給児童数 10,411人 <手当額> 第1・2子 月額5,000円 第3子 月額10,000円					こども相談課 614,045千円
1-5-9 児童扶養手当	児童扶養手当法に基づき、母子家庭等に手当を支給します。 対象受給者数 560人 <手当額> 全部支給 月額41,720円 } 2人目加算 5,000円 一部支給 月額41,710円～9,850円 } 3人目加算 3,000円					こども相談課 257,920千円
1-5-10 特別児童扶養手 当	特別児童扶養手当法に基づき、一定の障害のある児童(20歳未満)の父又は母若しくは養育者に手当を支給します。 市は手続のみ 県が支給 受給権者数 126人					こども相談課
1-5-11 ひとり親家庭等 児童の大学進学 支度金	ひとり親家庭等の子どもが大学等に進学するに当たり、支度金を交付します。 交付人数 19人(大学17人 短大2人)					こども相談課 1,140千円
1-5-12 遺児卒業祝金贈 呈	遺児が中学校を卒業するに当たり、その保護者に卒業祝金を交付します。 交付人数 14人					こども相談課 420千円
1-5-13 知的障害児通園 施設利用支援 (18新規・実)	あおぞら園知的障害児通園施設利用児童の施設利用料を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。 助成対象者 延べ3,374人(平成18年10月～19年3月)					障害者福祉課 2,181千円